

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

大王製紙株式会社 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 経営のコミットメントに関して、経営側での課題感が見えにくい。現状で行き詰まっている点と解決の方向性も示していただきたい。
- ・ ルール形成や標準化に関しては事業の海外展開の視点を入れて検討すべき。
- ・ オープン＆クローズ戦略について、特に、クローズ戦略の部分で、技術をノウハウとして秘匿化し、特許化はしないという方針を示されているケースが見られたが、社内での適切なノウハウ管理を行うことを前提としつつ、海外含む他社による知財化のリスクも勘案しながら開発を進めてほしい。
- ・ 石油由来のプラスチックの代替は、アップダウンはあるにせよ中長期的なトレンドとしては進んでいくと考えられるが、リサイクルのしやすさや環境負荷の低減とも併せて考えていくべき。
- ・ 足下の課題の整理を進めながら、製品のブランディング、表示、また、消費者への需要喚起のための方策、オープンイノベーションや標準化等、長期的に時間を要する事柄への進め方について、今後の方針を明確にすべき。社内の取組が尻つぼみにならないように継続的なマーケティングを実施してほしい。
- ・ オープン戦略実現に向けて、引き続き、十分な体制整備を図ってほしい。

以上